

## 会長を拝命して

田中 信夫

名古屋大学エコトピア科学研究所



このたび平成27年5月から2年間の任期で日本顕微鏡学会長に選任されました。

本学会は昭和24年の日本電子顕微鏡学会としての設立以来、我が国の微細構造観察技術の開発と、そのバイオ系および材料系への応用に多大な貢献をしてきたことは、皆さま、自他ともに認めるところであろうと

存じます。皆さまの建設的なご意見とご協力で、今後、本学会を少しでもアップさせていきたいと思っておりますのでどうぞよろしくお願いいたします。

本学会は、現在2,000名を少し割り込む会員を擁しておりますが、他の学会と同様若手会員数の弱体化は大きな問題であると考えております。バイオ系および材料系におかれましては、会員の皆さまが若手研究者や大学院生に Cultivation と Appeal を積極的にしていただけるようお願いいたします。顕微鏡学は「構造観察」(Structural)と「機能(物性)解明」(Functional)との共同協調作業であり、我々研究者と技術者は、前者はいうまでもなく、後者についてもその計測可能性を若手に強く Appeal する必要があると感じております。学会理事会としましては、例えば、好評の「電頭大学」をさらに Comprehensive & Integrated なものにして魅力を増すとともに、そのテキストなども公開できるレベルにするように支援する予定です。学会活動としては若手会員の勧誘は非常に大切な問題であると認識しております。

また、会員の皆さま方のためにも、学会賞(瀬藤賞)などの表彰の「充実化」をするとともに、各種授与資格の公認性の向上に向けた検討も進めていく所存です。

もう一つの大きな課題である学会の国際化については、平成25年に東アジアの4学会による「東アジア顕微鏡学会議(EAMC)」がスタートし、本年11月には姫路市で第2回が開催されます。皆さまの積極的な参加と論文投稿をお願いいたします。また、本年1月の吉報としては、古屋前副会長が IFSM 会長に就任されたことです。これは本学会が Domestic から Asian さらには International になる動きの先駆けであると考えられるでしょう。当然のこととしてそれと平

行して、本学会の Research Activity の水準を示す雑誌「Microscopy」の充実に向けたさらなる努力も必要でしょう。

通常の学術講演会とシンポジウムについては、ここ数年は現地実行委員長のご尽力により、外国人招待講演者+国内研究者で「英語セッション」が開催されており、本学会もすこしづつ国際化へと脱皮を始めております。来年度の学術講演会からは、日本人の通常の発表についてもパワーポイント各頁の表題と凡例くらいは英語化を義務付けたらどうでしょうか。

本学会は3年前に当時の執行部のご努力によって公益法人化いたしました。この1-2年のあいだに、内閣府によってその中間評価に相当するものも予定されております。それに備えて、現在事務局体制や予算などにも種々検討が行われております。またその公益性を示すために市民向け講座なども最近では着実に実施されており、この点についてはある程度の評価が得られるのではないかと考えております。

また学会の重要な活動として、現在16の分科会と研究部会が活動しており、それぞれに特徴ある成果が得られているとお聞きしています。さらなる発展を期待しています。

最後に、「今後の顕微鏡学の夢」については、世界の顕微鏡学の現状に鑑み、世界をリードする「次世代マイクロコピー」のコンセプトを一つでも本学会から創出していきたいものだと考えております。新しい装置開発のことだけを考えてみても、その中心は独自の発想を創造する若手研究者に期待するところが多いわけで、その面でも若手の人材育成と外国との深い連携の構築は急務であると考えられます。その面で理事会は言うに及ばず、現会員一人一人のご奮闘が切に期待される場所であると思えます。

以上、会長就任にあたり所感を述べさせていただきました。これから2年間の皆さまのご協力とご奮闘を切に希望して挨拶とさせていただきます。

### 田中 信夫 (Nobuo Tanaka)

#### 略歴

- 昭和53年 名古屋大学大学院博士課程修了, 工学博士号取得
- 昭和53年 日本学術振興会博士研究員
- 昭和54年 名古屋大学工学部応用物理学科 助手
- 昭和58-60年 米国アリゾナ州立大学理学部研究員
- 平成2年 名古屋大学大学院工学研究科応用物理学専攻 助教授
- 平成11年 名古屋大学大学院工学研究科応用物理学専攻 教授
- 平成14年 名古屋大学理工科学総合研究センター 教授
- 平成16年 名古屋大学エコトピア科学研究機構 教授
- 平成18年 名古屋大学エコトピア科学研究所 教授, 超高压電子顕微鏡施設長
- 平成24年 名古屋大学エコトピア科学研究所長, 名古屋大学評議員
- 平成26年 文部科学大臣表彰 科学技術賞受賞
- 平成27年 名古屋大学エコトピア科学研究所特任教授